

大分市から別府市へ

大分市内の行進は延べ4日間かけて約50キロを歩き通し、9日13時に別府市に引き継ぎました。大分最後のこの日のコースは別府・大分間のシーサイドコースで、潮風を受けて気持ちよく行進できます。また、今年はこの季節には珍しくほとんど雨に災いされず、親子ずれの参加者など幅広い参加者で参加者数も昨年を上回りました。

県が会議室を用意して対応

大分県に要請に行ったとき対応した県の担当者に1人が「自分の父親は広島の“入市被爆者”で被爆者手帳を持っていた。核兵器廃絶についてはいつも関心を持っています。申し入れの趣旨は知事に伝えるようにします」と語りましたが、署名については「知事も反対はしないと思うが、他団体との兼ね合いで・・・」と応じませんでした。ただ、1昨年までは担当者が面談することも拒否し、昨年は「書庫」のような狭い部屋で「冷たい」仕打ちでしたが、今年はちゃんとした会議室を用意して対応しました。来年はなんとしても知事の署名を取り付けたいと思います。ペナントにはサインしました。

引継式で河野県被団協事務局長が挨拶

大分から別府市への引継式が東別府駅広場で行なわれ、県被団協事務局長の河野昭二さんがさんかされ「皆さんのこのような地道な運動が核兵器廃絶につながります。年をとって思うようにできませんが一緒に頑張りましょう」と、行進団へ激励の挨拶をいただきました。河野さんは別府市在住で、3年前には別府市内を一緒に行進されました。

7月11日(土)の日程・・・ 9時・杵築城下駐車場発～杵築市内一巡

10時30分・車で国東「道の駅」に移動

11時・「道の駅」発～市役所まで行進

14時30分・豊後高田トキ八発～市内一巡

7月12日(日)の日程・・・ 10時から、湯布院で「町内行進」(湯布院駅集合)